

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	グラン・シード南郷ルーム			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日		～	2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 31日		～	2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が安心して過ごすことができる居場所、「また来たい」と来所を 楽しみに思える環境づくりを心がけているため、早期に利用を中止し てしまう児童がおらず安定的に通所することができるようになってい る。	年少から年長までの児童が物の1日の流れや物の置き場所を見てわかり自分で 動くことができるように、絵カードやイラストを使用し見える化を見通し を持ってないことに対する不安が軽減するようにしている。 特性などによって集団やコミュニケーションに困難を抱えている児童には無理 に活動への参加を促すのではなく、安心できる場所、楽しい場所であると 認識できるまで必要に応じて個別の対応や本人の思いを受け止めることを優先 している。	様々な年齢や特性、心理状況でもルームでは安心感を抱けるよう、 より児童とコミュニケーションをとり信頼関係を築いていきたい。 また余裕を持った対応ができるよう職員の人数を確保していきたい。
2	各児童のストレングス（強味）を引き出すことを目的とした様々な活 動を取り入れている。	5領域の視点の観点から、スポーツ療育（サッカー等）を通じた集団 への関わり方、モラル・マナー、思いやりの体感、自主性尊重を意識 している。また、リトミックやリズムダンスなどの音楽療育を取り入 れ精神的安定やコミュニケーション能力向上に取り組んでいる。	活動を企画するにあたり、目的を明確化して取り組んでいるが、参 加する職員全員で活動計画書の内容を理解して、作業分担当めス ムーズに進められるよう取り組んでいる。また、活動後振り返りを行 うことで次回の活動に繋げられるよう努めている。
3	幼稚園・保育園と連携をとり、日頃の様子や児童への対応などを共有 することができている。	児童が通所している保育園・幼稚園へ児童が過ごしている様子を見学 しに行き、その後園長先生、担任の先生と園児が日々の生活で課題と していることや、その後の対応などを共有し、支援計画等に反映させ ている。また、保育園・幼稚園の先生がルームを見学することもある。	今後も連携を続けていき、より一人一人に寄り添った支援を行って いくよう努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域関係機関、自立支援協議会との連携が薄いこと	専門的な知識習得や人的交流の為、関係機関との連携は必要であると 認識しているが、日々の療育対応や準備に時間がかかるため時間をと る余裕がない。	研修会等に関しては、会場参加のパターンではなく動画配信などで あれば時間を作り参加できるため、このような提案を関係機関に 行っていきたい。
2	ペアレントトレーニング等保護者との療育の連携	保護者の方々には、様々な生活背景があり就労や乳幼児の育児介護な どで忙しいのではと考え、ペアレントトレーニング研修等は不開催に なってしまう。連絡ノートや送迎時や面談時にアドバイスとして 関わり方等お話ししているが、ペアレントトレーニングという認識 をもってもらえていない為、自己評価表での評価が低い。	保護者へのペアレントトレーニングの理解を促すお便りの作成や実 施方法を明確にした周知を行う。様々な方法を試行し最適な実施方 法を模索していく。また、職員の専門性を深め、良い的確なアドバ イスを行うことができるよう職員研修等に参加していく。
3	より質の高いサービス提供に結び付けられる職員の補充	より専門的な療育提供の為、理学療法士等の採用に力を入れており、 専門職員の補充は少しずつできているが、まだ不足している状況にあ る。	各種媒体を通じての求人对応は行っているが、容易に人材を見つけ ることはできない為、継続的に求人活動を行い、言語聴覚士等含め 専門的職員確保を目指して取り組んでいく。